

1 取得できる免許・資格が広がります

●2026年度入学者より、新しく**中学校教諭1種免許状(国語、保健体育)**が取得可能になりました。小学校教諭1種免許状、及び他学部履修によって取得可能な中学校教諭1種免許状(英語、社会)、高等学校教諭1種免許状(英語、地理歴史、公民)と、選択の幅が広がりました。

●在学中に、敬愛短期大学への科目等履修によって幼稚園教諭2種免許状の取得が可能(実習費のみ自己負担)。

●さらに、教員になった際に役に立つ実務的な資格などを、自分の「強み」として取得することができます。

- ◆学校教員司書教諭(国家資格)
- ◆キャンパインストラクター(公認資格)
- ◆准学校心理士(公認資格) ◆ピアヘルパー(受験資格)
- ◆社会福祉主事(任用資格) ◆児童指導員(任用資格)
- ◆Microsoft Office Specialist など



2 自分にあった履修計画を立てられます

●大学教員には、それぞれの研究歴や実務経験に基づいた専門性があります。その専門性に基ついた課題探究科目群を設けています。

●教諭免許状や資格を取得するだけでなく、学生は自分の興味関心によって履修科目を選び、各領域の先端的研究や最新の教育課題に触れることができます。

領域	授業科目
言語文化と教育	児童文学/日本文化論/英米児童文学/Mother Gooseの世界/読書と豊かな人間性
社会と教育	キャリア教育/世界のこども教育/多文化教育論/学校の安全教育/ちばの地理歴史と文化
科学と教育	数の不思議/かたちの数学/科学教育論/理科の観察実験/ちばの自然と環境
情報と教育	メディアリテラシー教育/情報メディアの活用/情報モラル教育/プログラミング教育/学校教育のAI活用
こども理解と教育	こどもと遊び/こどもをめぐる対話/こどもの心と体/造形と表現/音楽と表現

3 体験的な学びがバージョンアップしました

●1年次・2年次学生を主対象として、「体験的に学ぶ」シリーズの授業を新しく始めます。1泊2日または日帰り2回の現地踏査を通して、実感的な手応えのある学びを生み出します。

- ◆体験的に学ぶⅠ(野外活動)
- ◆体験的に学ぶⅡ(社会科ちば巡検)
- ◆体験的に学ぶⅢ(理科臨地実習)
- ◆体験的に学ぶⅣ(ちば文学探訪)

●そのほかにも座学を越えて、本学部の強みである体験的な学び方をさまざまな授業で取り入れています。



(久保田美和准教授「小学校図画工作」：千葉県立美術館とコラボした「ビルダーカードを活用した造形遊び」の授業)

4 こども理解のための授業を拡充します

●学生の発展的な興味関心を引き出すために、「こども学Ⅰ・Ⅱ」という授業を必修化しています。現代の学校が向き合っているさまざまな課題を、それぞれの先生のこれまでの実践研究や経験からアプローチしていきます。次のようなテーマを扱います。

- こどもと遊び・遊びの中の学び/非認知能力*/いじめ問題と教材開発/こどもの創造力を育てる(百円グッズで学級づくり・授業づくり)/探究の共同体・考えるための教室/ジェンダーの発達と性別違和/生成AIと学校教育/読書教育

●このほかにも、「児童文学」、「世界のこども教育」、「こどもの心と体」、「造形と表現」、「音楽と表現」などの授業を通して、こどもへの理解を深めていきます。

●こどもを理解する力はさまざまなボランティアサークル活動でも活かされています。



(教育ボランティア部活動Irisの活動)

*非認知能力 学力テストでは測定できない能力。具体的には、やる気・意欲、忍耐力、協調性、自制心など人の心や人間関係を築く社会性に関係する力。

5 小学校英語教育プログラムがさらに充実しました

●小学校英語教育講座修了証は、敬愛大学が独自に認定している資格です。小学校の教育現場や教育委員会から高い評価を受けてきました。それぞれの小学校における英語教育の中心となって活躍していく力を身につけられます。

●プログラムを構成する主な授業科目

- ◆College English I ◆College English II
- ◆小学校英語基礎 ◆小学校英語 ◆小学校英語発展
- ◆小学校英語指導法 ◆小学校英語指導法発展Ⅰ
- ◆小学校英語指導法発展Ⅱ ◆小学校英語指導法発展Ⅲ
- ◆Mother Gooseの世界 ◆英米児童文学



(小学校英語の教育実習授業)

6 ICT教育などの最新の教育課題を広くとりあげています

●敬愛大学では2024年度からBYOD(Bring Your Own Device)を実施しています。学生は自分自身のPC端末を毎時間、授業に持参します。教育学部では、大学授業での効果的なICT活用や小学校・中学校での実践的活用の拡充について研究しています。

●実際の学校現場では、Windows端末だけでなく、ChromebookやiPadも使用されています。教育学部ではこれらの機種をそろえ、複数のOSに学生が習熟できるようにしています。また、教育現場で役立つ情報モラル教育、プログラミング教育、AIの教育活用の可能性について重点化した授業を行っています。

●そのほかにも、不登校対策、いじめ問題、学校の安全教育、教員の働き方改革、キャリア教育、道徳教育、海外にルーツを持つ児童生徒の支援など、現代のさまざまな教育課題に対応した授業を行っています。



無料でマンガ教材

(阿部学准教授が開発しているいじめ防止教材)

新カリキュラムがさらに充実!! 敬愛大学教育学部が自信を持つ12のメリット

7 学校体験活動や往還型教育実習によって教育現場に密着した力を育てます

●千葉市・船橋市・習志野市、千葉市教育センター、千葉市立第二養護学校と提携した公認の教育ボランティア活動を推進しています。これらの活動は、「学校ボランティア」として、自由履修の単位化をしています。

●1年次の参観実習から始まり、4年間を通して学校教育現場とつながっていきます。

●千葉県、千葉市の教育委員会の先生方をはじめとする外部講師を多数お招きして、最新の教育課題を学ぶ授業や講演会を、常に提供しています。



(千葉市立小学校での学校ボランティア活動)

8 すべての授業でアクティブ・ラーニングを取り入れています

●基本的に少人数授業を行っています。学生同士によるグループワークやディスカッション、プレゼンテーション、ワークショップ、共同制作など、主体的な学びをあらゆる授業シーンで実践しています。

●各教科の指導法の授業では、学習指導案を作成し、教材研究・板書計画を経て模擬授業を行う授業づくりに力を入れています。2025年4月に専用の模擬授業教室を作りました。



(体験型ワークショップ：1・2年合同ゼミ)

9 課題解決型学習を追究するゼミ授業が充実しています

●教育学部では、各学年にゼミという必修授業を設けています。

●1年次・2年次には12名前後のクラスで、2学年の合同ゼミを行います。前期はSDGsをテーマに小グループに分かれて、「地球環境を守るために自分たちにできること」を考えたり、ディスカッションをしたりして、ポスター・セッションでの発表につながります。後期は道徳の教材を想定した表現劇を創作します。自分たちでテーマを決めてシナリオを書き、発表会に臨みます。

●3年次・4年次では、学生の興味関心にそって各教員が開講するゼミを選びます。6~8人程度のグループに分かれ、最後は卒業論文をまとめ、全体での発表会を行います。ゼミ教員は研究の指導をするだけでなく、修学計画や進路などについても広く気軽に相談できます。敬愛大学教育学部は学生と教員の距離が近いといわれるゆえんです。



(卒業論文発表会)

10 豊かなちばの自然・環境や社会・文化にフォーカスした授業を展開します

●新しく「ちばの自然と環境」、「ちばの地理歴史と文化」の授業を創設します。千葉の自然や地理歴史などにかかわるさまざまなスポットや博物館、資料館を広く知り、それを小学校や中学校の授業に生かせる地域教材として開発していく力を身につけます。

●「現代教育課題演習Ⅰ(ちばの教育行政)」では、千葉県・千葉市の教育関係者をお招きし、最先端の教育課題について話を聞きます。「教育の視野を広げる」では、学校の教員以外で教育に深く関わっている方々、例えば、放課後の子どもの居場所作りや海外ルーツの子どもの支援をしているNPO法人の方、フリースクール、児童相談所、学校給食に関わっている栄養士の方々などの話を聞き、子どもや学校が地域の多くの人々に支えられているしくみを考えていきます。

●「体験的に学ぶⅠ~Ⅳ」でも、千葉県内のさまざまなスポットに出かけていき、ちばの魅力の再発見を試みます。



加曽利貝塚(千葉市)

11 教員採用候補者選考(教採)のサポートが充実しています

●教職センターを中心とした、4年一貫の教採サポート体制を築きあげてきました。結果として、4年次現役学生の正規採用の高合格率となっています。

●次の各講座や業者が実施する模擬試験などが、テキスト代(実費)のみの自己負担で受けられます。

1~3年次	レギュラー講座(5教科の基礎講座) キャッチアップ講座(苦手教科克服の講座) 教職教養集中講座(春休みに集中して実施)
4年次	ブラッシュアップ講座 (集団討議と模擬授業・個人面接に特化した講座) 1次選考・2次選考直前講座 (選考試験の実際に即した実践的な課題克服)



(集団面接・集団討議の指導)

12 同じ志を持つ仲間が多数いて、共に学び合える環境が整っています

●2023~2025年度の新入生217名のうち、教員志望の意志を持っている学生は96.3%に達します。教員を志望する理由は、「こどもが好きだから」、「通っていた学校にアコがれた先生がいたから」、「たいへんな仕事だが、それ以上のやりがいを感じるから」がトップ3です。

●さらに敬愛大学教育学部を選んだ理由としては、「授業カリキュラムが充実している」、「教育実習やボランティア活動が充実している」、「教員採用候補者選考への対策が充実している」がトップ3です。

●ここに来れば、同じ目標を持って学び合える友だちが、たくさんできます。



(授業と授業の間の空き時間)